

3-1 インフラ・ストック効果の紹介（分野別）

- (1) 交通・物流
- (2) 防災
- (3) 環境
- (4) 水と緑
- (5) 観光・にぎわい

（1）交通・物流

- 首都圏の人やモノの流れを加速させる広域的な道路ネットワークの形成
- 開発・機能集約による経済活動やイノベーションを創出する国際的なビジネス・交流の拠点の形成
- 首都圏4,000万人の生活と産業を支える東京港の機能強化
- 鉄道、バス、舟運等に加え、自転車など小型で環境にやさしい輸送手段による自由自在な移動等、多様な交通手段によるシームレスな交通ネットワークの形成

道路ネットワークの形成



＜三環状道路の整備＞



＜連続立体交差事業＞



＜区部環状線整備＞



＜多摩南北道路整備＞

- ストック効果**
- ◆所要時間の短縮
 - ◆渋滞の解消
 - ◆踏切交通遮断量の軽減

東京港の機能強化、多様な交通ネットワークの形成



＜中央防波堤外側コンテナふ頭(イメージ)＞



＜高密・強靱な地下鉄網＞



＜自転車走行空間の整備
(旧玉川水道道路)＞



＜防災船着場の整備・利活用＞

- ストック効果**
- ◆物流機能の強化
 - ◆交通手段の充実
 - ◆拠点地区へのアクセス向上

ストックが社会に及ぼす効果

- 移動時間短縮
⇒観光地での滞在時間増



- 事業を契機として
周辺まちづくりが進展



- 世界都市ランキング経済分野1位（2016）
- 都内GDP 95.4兆円（2015）⇒国内総生産の約2割に相当

出典：東京都「東京の特区」JHP



◎ 広域的な社会・経済活動への波及

◎ 快適で利便性の高い都市の実現

◎ 経済成長の促進、国際競争力の向上

(3) 環境

- スマートエネルギー都市の実現を目指し、省エネルギー対策の推進、再生可能エネルギーの導入を促進
- 老朽化した都営住宅の計画的な建て替えや、交通機関、公共空間等のバリアフリー化を着実に進め、誰もが安全、安心して過ごすことができる居住環境を創出

スマートエネルギー都市の実現



<LED照明付バス停留所>



<太陽光発電パネルの設置（配水池上部）>

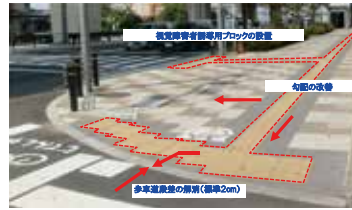


<下水道事業における再生可能エネルギー活用拡大イメージ>

ストック効果

- ◆エネルギー消費量の削減
- ◆経費削減
- ◆CO2排出量の削減

安全・安心で過ごしやすい環境の創出



<道路のバリアフリー化>



<駅のバリアフリー化>



<都営住宅の建替事業>

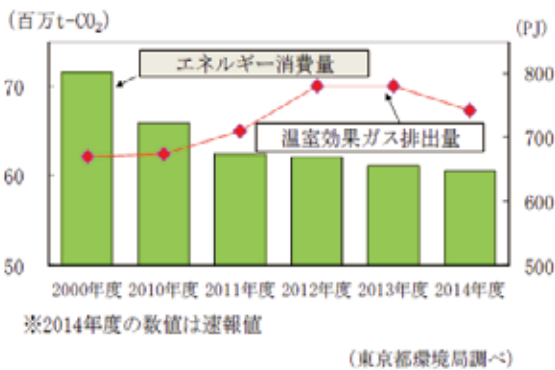
ストック効果

- ◆交通機関、公共空間等のバリアフリー化の充実
- ◆住みやすい居住環境の確保

ストックが社会に及ぼす効果

■エネルギー消費量の削減に伴い 温室効果ガス排出量の減少

<エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の推移>



◎ 温暖化の抑制

■都営住宅の建替えに伴い創出された用地を有効活用



<勝どき一丁目地区プロジェクト>

子育て世帯住宅を含む民間賃貸住宅や子育て支援施設、商業施設等を整備

順位	2013年	2014年	2015年	2016年
1	コペンハーゲン	コペンハーゲン	東京	東京
2	メルボルン	東京	ウィーン	ベルリン
3	ヘルシンキ	メルボルン	ヘルシンキ	ウィーン
4	東京	ストックホルム	メルボルン	コペンハーゲン
5	ウィーン	ヘルシンキ	シドニー	ミュンヘン
6	チューリッヒ	ウィーン	ストックホルム	メルボルン
7	ストックホルム	チューリッヒ	バンクーバー	福岡

住みやすい都市ランキング世界1位
出典: 「Monocle」ホームページより東京都作成

※イギリスの雑誌「Monocle」が毎年公表している「都市の住みやすさ」に関するランキング

◎ 安全、安心で住みやすい都市環境の創出

(4) 水と緑

- 都市公園の整備・開園、水辺の緑化（海上公園の整備・開園、河川緑化）、再開発等に合わせた新たな緑地の創出、街路樹の道路空間の緑化等、都市のあらゆる機会・空間を活用した緑の創出・保全を推進
- 合流式下水道等の改善による河川等の水質改善、雨水貯留施設の整備、高度浄水処理による安全でおいしく高品質な水道水の供給等、良好な水環境・水循環を形成

緑の創出



<海上公園(大井ふ頭中央海浜公園)>



<河川の緑化>



<街路樹による木陰のある空間創出>



<都心に創出された緑>

ストック効果

- ◆連続性・一体性をもった質の高い緑の創出
- ◆自然豊かな都市環境の創出
- ◆生物多様性の向上

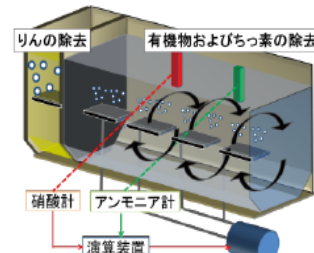
良好な水環境・水循環の形成



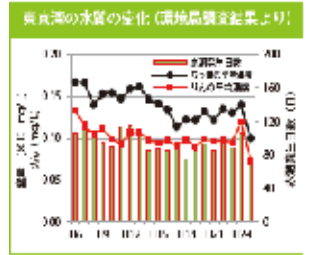
<隅田川のしゅんせつ>



<高度浄水により高品質な水道水を供給>



<新たな高度処理(下水)「嫌気・同時硝化脱窒処理法」>



<東京湾の水質の変化>

ストック効果

- ◆河川や運河の水質改善
- ◆美味しい水の安定供給
- ◆快適な水環境の創出

ストックが社会に及ぼす効果



<企業、NPO等と連携した保全活動>



<早慶レガッタの復活>



- ◎緑の保全に対する理解促進(ボランティア活動等)
- ◎水辺に近い場所での様々な活動の活性化
- ◎CO₂吸収源の創出によりヒートアイランド現象の緩和

(5) 観光・にぎわい

- 公共空間を活用し、多様な芸術・文化・スポーツ活動にあふれる成熟都市を演出
- インフラ自体を観光資源として活用

公共空間のオープン化、魅力創出・発信



＜歩行者に道路を開放している丸の内仲通り＞



＜隅田川のかかわてらす＞



＜河川・水辺空間のランニング・ウォーキング＞



＜東京大茶会2016（浜離宮恩賜庭園）＞

ストック効果

- ◆にぎわいのある空間の創出
- ◆東京の魅力向上

観光資源となるインフラ



＜隅田川に架かる永代橋（重要文化財）＞



＜駒沢給水所＞



＜旧三河島污水処分場唧筒（ポンプ）場施設＞

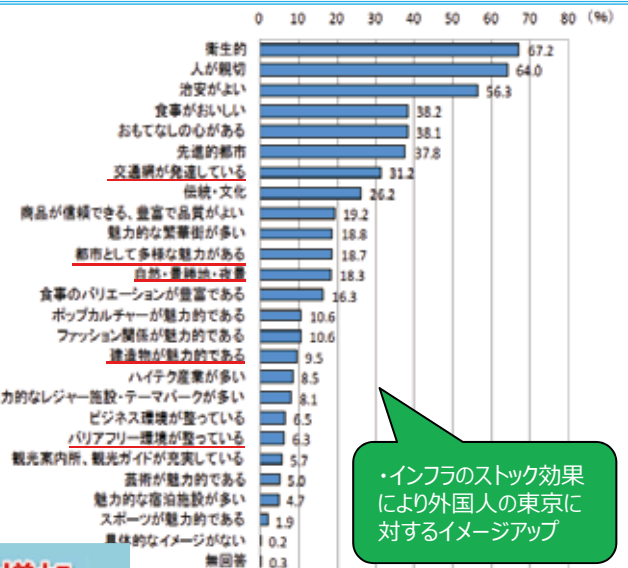
ストック効果

- ◆文化遺産、土木遺産
- ◆まちのシンボル

ストックが社会に及ぼす効果



出典：「東京都観光客数等実態調査」（東京都）



・インフラのストック効果により外国人の東京に対するイメージアップ

- ◎公共空間におけるイベント開催数、参加者の増加
- ◎訪都外国人観光客数増加、東京のイメージアップ

出典：平成27年度 国別外国人旅行者行動特性調査（東京のイメージ）：東京都産業労働局